

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

学校名	唐津市立鬼塚小学校			
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究で取り組んでいる道徳教育については、これまでの積み重ねに、昨年度から取り組んでいる他教科との関連を視点にもつ実践を重ねることで研究を深めることができた。 ・「健康・体づくり」について、校時を見直し、児童が運動に親しむような機会を設定することで一定の成果を得ることができた。今後も体育的行事の充実や休み時間の外遊びの奨励など具体的な手立てを通して、さらなる体力向上を目指したい。 ・教職員の働き方改革については、事務作業の削減や、ICTを活用した授業・会議の効率化、教育支援体制の充実等に積極的に取り組み、さらなる労働時間の短縮と業務の効率化を図っていく。 			
2 学校教育目標	<p style="text-align: center;">明るい未来社会の創り手を育てる</p> <p style="text-align: center;">えがお しあわせ みらいをつくる 鬼塚小学校</p>			
3 本年度の重点目標	<p>① 考える力：「唐津の学びスタイル」を基に主体的対話的で深い学びの視点での授業改善を図る。</p> <p>② 心の力：家庭・地域と連携した体験活動や人権教育の充実を図ることで、自己肯定感を高める。</p> <p>③ 体の力：系統性を重視した意図的・計画的な健康教育と体育活動を行う。</p>			
4 重点取組内容・成果指標				
(1)共通評価項目				
	重点取組			主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・唐津の学びスタイルに沿った授業の実践 ・個に応じた教材の準備と児童主体の授業の実践	○教職員アンケート「唐津の学びスタイルに沿った授業を展開し、児童主体の授業を行っている」と回答した教職員が85%以上。 ○児童アンケート「授業では【こんなことが分かった】【こんな学びが身についた】と感じることができていますか」と回答した児童が85%以上	・全教科の授業で唐津の学びスタイルに沿って、評価・改善しながら協働的な学びに重きを置いた授業展開を目指す。 ・個別最適な学びを目指し、児童の実態にあった教材の準備や授業展開の工夫を行い、学力の向上を目指す。	・学力向上対策コーディネーター
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動の展開	○道徳に関するアンケートにおいて①「命を大切にしている」②「まわりの人のことを思いやり、進んで親切にしている」③「差別をしないで、だれに対しても同じように接している」について、肯定的な回答をした児童85%以上	・人権教育(さくらカードや特別の教科道徳等)の全般的な取組の充実。 ・人権週間や集会(11月下旬)を設定し、学級や学年で人権学習に取り組む。	人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員85%以上 ○アンケートで「学校が楽しい」と回答する児童90%以上	・いじめアンケート等を通して児童の状況を把握し、いじめの早期発見や早期解決に取り組む。 ・生活指導協議会や児童理解研修会等で気になる児童の情報共有を行い組織として対応する。	生徒指導担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動の充実	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした児童生徒85%以上	・友達、教員、保護者、地域の方からの桜カードを紹介、掲示することで、自分や友達のよさを実感させる。(教員が書いた桜カードを各クラスで紹介する。) ・地域との交流や体験活動、学校行事等でサッカーカード(具体的な目標設定・活動後の振り返りカード)を活用する。	道徳教育推進教員 各学年主任
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」以上3点の推進	②週に2回以上体を動かしている児童80%以上 ③「健康に良い食事をしている」児童生徒85%以上 ⑤「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童生徒85%以上	・休み時間に外に出て体を動かして遊ぼう」と給食体育委員会の児童に呼びかけさせる。 ・全校や学年単位で遊ぶ時間を設定し実施する。 ・給食週間を設定し、食事の大切さや健康に過ごすためのどのような食事がいいか考える時間をとる。 ・ほげんだよりで保健学習と関連付けた内容を取り上げる。 ・熱中症、感染症の予防をパワーポイント等の教材を用いて指導する。	保体部長 養護教諭 食育担当 安全教育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・伝達事項は文面やグループウェアで伝え、協議する内容を見直すことで、職員会議や職員連絡会の回数、所要時間を絞り、学級事務等の時間を確保したり、年休を取り易くしたりする。 ・業務内容の精選や改善を適宜行い、チームで進めることで時間外勤務の削減を図る。	教頭
●特別支援教育の充実	○職員の特別支援教育に対する専門性の向上	●アンケートで、研修の内容が児童に対して具体的な支援につながったと回答した教員80%以上	・職員対象の研修を行い、児童理解と指導力の向上を図る。 ・定期的(1月に1回程度)にケース会議を開き、より適切な指導に取り組んでいく。	特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				
	重点取組			主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○ICT活用教育の推進	○1人1台端末を活用した個別最適な学び、協働的な学びの推進	○アンケートで「状況に応じて一人一台端末を活用できた」と回答した児童と教師、それぞれ80%以上。	・Teamsや校内研修等により、一人一台端末の活用法を共有し、唐津市情報活用能力システムをもとに活用を推進する。	教育情報化推進リーダー
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 			